

平成27年5月17日

CT測定セミナー開催のお知らせ

公益社団法人日本放射線技術学会中部支部
アンギオ研究会 世話人 竹井 泰孝 指江 浩之
放射線防護研究会 世話人 小林 正尚 能登 公也

謹啓、時下ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

この度、中部支部アンギオ研究会は放射線防護研究会との共催により、CT線量測定セミナーを下記の要領にて開催させて頂くこととなりました。

医療におけるCTの利用頻度はこの10年間でさらに増加し、我が国の国民が1年間に受ける医療被ばくの約60%を占めるまでになりました。

年々増加する医療被ばくに対応するため、UNSCEARやICRP、IAEA、WHO等の国際機関や団体が協力してエビデンスベースの医療放射線防護の実現に向けた検討を行っており、その対策の一つとして医療被ばくの最適化のための診断参考レベル（Diagnostic Reference Level: DRL）策定があります。

我が国では医療被ばく研究情報ネットワーク（J-RIME）によって策定されたDRLが来月公開の予定ですが、その活用には各医療現場での線量測定が必要となってきます。

今回のセミナーでは測定方法を学ぶ機会が比較的少ないCTに特化し、参加者の所属施設の線量計を用いてCTDIvolや半価層の測定技術を学ぶことを目的としております。なお線量計をお持ちでない施設の参加者には、計測部会の貸出用線量計をご用意いたしました。

ご多忙とは存じますが、お誘い合わせの上ご参加下さいますようご案内申し上げます。

謹白

記

日 時 平成27年6月21日(日) 9:00 – 17:00 (8:30より受付開始)
場 所 浜松医科大学医学部附属病院 4階シミュレーションセンター
募集人数 15名 (先着順)
参加費用 3,000円 (お茶・お弁当代込)
申込方法 お申し込みは終了しました。

日本X線CT専門技師認定機構 単位認定講習会 (講師：2単位、受講者：10単位)

総合司会 日本放射線技術学会中部支部 放射線防護研究会 小林正尚

【プログラム】

- 9:00-9:15 開会の挨拶・CT測定セミナーの概要の説明
日本放射線技術学会中部支部 アンギオ研究会 竹井 泰孝
- 9:15-9:45 計測部会 線量計貸出事業、診断領域線量計標準センターの紹介
金沢大学附属病院 放射線部 能登 公也
- 9:45-10:15 小型OSL線量計(nanoDot)を用いた室内散乱線測定
長瀬ランダウア株式会社 小林 育夫先生
- 10:15-10:35 休憩
- 10:35-11:05 我が国のX線CTの診断参考レベルとその考え方
浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 竹井 泰孝
- 11:05-11:50 X線CTのCTDIvol、半価層の測定方法
金沢大学 医薬保健研究域 保健学系 松原 孝祐先生
- 11:50-13:00 お昼休み（昼食をご用意いたします）
- 13:00-13:30 nanoDotを用いた室内散乱線測定の実演（附属病院地下1階 血管撮影室）
- 13:30-15:30 CTDIvol、半価層測定の実習（附属病院地下1階 CT室）
- 15:30-16:30 データ整理および質疑応答（病院4階 シミュレーションセンター）
- 16:30-16:40 閉会の挨拶
日本放射線技術学会中部支部 放射線防護研究会 能登 公也

担当世話人：浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 竹井泰孝
電話 053-435-2733

E-mail ytakei-ham@umin.net

共催 日本放射線技術学会中部支部 アンギオ研究会・放射線防護研究会